

ディスクロージャー

社会の一員としての責任

- 高い倫理観を備えた積極かつ公平な情報開示

※株主・投資家の皆様へのディスクロージャーについては、P.53をご覧ください。

基本的な考え方

当社グループが、地域、社会から信頼される企業となるためには、「透明性の高い健全な経営」を行うことが不可欠です。私たちは、当社グループの経営情報や事業活動における様々な取り組み、リスク情報などについて、積極的な情報開示を行っています。



推進責任者
執行役員 広報部長
北野 眞

Plan 社会の視点や感度を踏まえた広報活動

Do 積極的な情報開示のための取り組み

安全や経営に関わる情報の積極的発信

当社では「定例社長記者会見」などのプレス発表を毎月実施するほか、情報発信ツールとして動画を活用するなど積極的な情報発信に努めています。また、受け取る方にとって分かりやすく受け取りやすい情報発信をめざし、丁寧な説明を心がけています。

各エリアへのきめ細やかな情報発信

ネットニュース社や地域媒体とのつながりを強化し、各エリアでの情報発信力を向上させるとともに、ホームページではグループ会社を含むエリア情報の発信を開始しました。

海外向けホームページをリニューアル

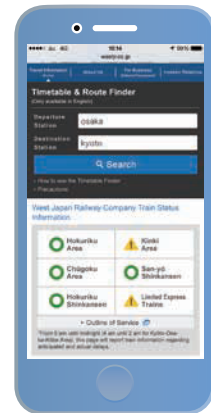
海外からのお客様の増加を受け、海外向けホームページへのアクセス数が増加していることから、海外からのお客様に接する機会の多い現場社員から意見を聞き、サイトのリニューアルを行いました。また、スマートフォン対応ページを新たに開設するとともに、大規模な輸送障害などの緊急情報を外国語でも掲載するなど、利便性を高めました。

Do 情報発信力の維持、向上

様々な状況下において適切な対応ができるよう、当社及びグループ会社の広報担当者への教育を充実し、広報対応力の強化に努めています。



HP 定例社長記者会見動画
<http://www.westjr.co.jp/company/ir/movie/>



スマートフォン対応の
海外向けホームページ

CHECK&ACTION

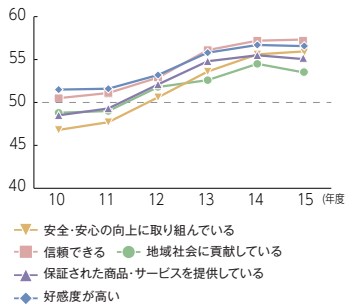
CHECK

企業レピュテーション調査による評価はほぼ横ばい

当社では毎年企業イメージをきく外部調査（＝企業レピュテーション調査）を実施しており、「JR西日本グループ中期経営計画2017」（＝以下、「中期経営計画」）に関連深い5項目の評価向上をめざしています。過去数年は全体的に上昇傾向にあるものの、2015年度は、2014年度からほぼ横ばいとなりました（2014年度平均55.9→2015年度平均55.7）。今後、安全・安心、CS、地域共生に関する認知度を更に高めるとともに、事象発生時にお客様、社会へタイムリーに情報を発信することが必要と認識しています。

企業レピュテーション調査結果

重要テーマの評価推移(50を標準とする評価値)



ACTION

計画のゴールを見据えた情報発信に努めます

2017年度が「中期経営計画」、「安全考動計画2017」の最終年度であることから、各目標の到達状況や安全、CSをはじめとする具体的な取り組みについて情報を発信していきます。

また、地域との共生についても地方機関と連携し、様々な取り組みの積極的な発信に努めます。